

# ICLSニュース

2017年12月11日  
発行責任:救急委員会

2017年12月10日に米の山病院、多目的室で久留米大学高度救命救急センター 福田理史先生のご指導の下、第2回米の山病院ICLS講習会を開催しました。受講生は12名でした。インストラクター、アシスタントインストラクター併せて17名と、とても手厚い講習会となりました。

今回の参加者は、医師3名、看護師8名、放射線技師1名でした。2回目の開催となり、新たにアシスタントインストラクターとして参加した人もいました。参加者の感想をいただきました。

## 研修医:安波和道先生

一通り経験して頭で考えていることを実践すること、指示を出すことの難しさを実感しました

## 4階北病棟看護師:蓮田紗季さん(入職2年目)

参加してみて次の行動を予測しながら動くことが大切だと実感しました。リーダーシップをとることで全体の流れを把握することができたのでこれから活かしていきたいと思います

## 放射線技師:穴見圭祐さん

二次救命処置の流れを把握し、患者情報や心電図波形から対処していくということで考えることはたくさんあり大変でしたが、放射線技師として検査前の患者情報や状態を理解し撮影、読影につなげることが大切なので難しかったですが対処も含めて考えることができて勉強になりました。

## 5階南病棟:堤 健一 師長

BLSの繰り返しで身体が疲れ、頭も使ってとても疲れましたが、一日中実技を繰り返すことで自然に身に付けることができました。急変にあたる機会が少なくなりすべてを忘れてしまわないようまた参加していきたいと思います。

## アシスタントインストラクターとして初めて参加

### 5階南:旭田佳代さん

人に伝えるのは自分が理解して相手分りやすく伝えないといけないのでとても難しかった。少しずつでも自分にできることを増やしていきたい。

### 5階南:松藤美穂さん

毎月ACLSなどで指導をしていますが、説明が不足しているなど感じました。昨年受講者として参加し今回アシスタントとして参加して指導法、フィードバックの仕方など学ぶことがたくさんありました。

## 崎山院長のご挨拶から

ICLSという一つの学びが、久留米大学、久留米総合病院、鳥栖消防、甘木朝倉消防、大牟田消防本部と大きなつながりを持つ期会となり、筑後地域の医療を担う力となっていきます。今後も開催していきたい。

今回は、卒後生から管理職、コメディカルと多数参加をいただきました。ICLSは、様々な症例を考え、指示を出し、チームを統括する力を養います。現場での実践力となります。また、一つの目標に向かって学びを深めることのできる時間はとても有意義なものです。

次回は5月の開催を計画しています。皆さんも参加してみませんか？多数の参加をお待ちしています